

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自殺者の増加を踏まえた愛知県の取組

1 愛知県知事 緊急メッセージ

8月の自殺者の急増を踏まえ、かけがえのない命を守るために、知事から県民に向けて緊急メッセージを発出した。

○発出日 2020年(令和2年)9月14日

○知事メッセージ

県民の皆様へ（知事緊急メッセージ）

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、県民の皆様の中には、今後の生活について、大きな不安を感じている方が多くおられるのではないかと思います。

本県では、大変悲しいことに自ら命を絶たれる方が急増しています。

つらく、苦しい思いを抱えている方へ

一人で、悩みや苦しい思いを抱え込まず、御家族や友人、職場の仲間など、あなたが信頼できる方に話をしてください。

身近な人に相談しづらい、あるいは、相談できる人が周りにいない方で、生活でお困りの場合は、県や市町村の相談窓口にご相談してください。

つらくてたまらない、生きているのがしんどい、消えてしまいたいと思われる方は、「あいちこころほっとライン 3 6 5」や精神保健福祉センター、保健所、「名古屋いのちの電話」などの相談窓口に、あなたの気持ちを話してください。

あなたの「生きたい」という気持ちをどうか大切にしてください。

県民の皆様へ

自殺を考えている人は、「眠れない」、「原因不明の体の変調が長引く」など、何らかの危険を示すサインを発していることが多いと言われています。

こうしたサインに気づき、声をかけ、その人の話に耳を傾け、そして専門の相談窓口につながることで、大切な命を守る一歩となります。

皆様の周りの方を気にかけてください。そして「心配しているよ」の気持ちをぜひ伝えてください。

2020年9月14日

愛知県知事 大村 秀章

2 周知・啓発

(1) 啓発ポスター・カードの作成配布

通常の啓発（自殺予防週間および自殺対策強化月間における啓発資材および啓発リーフレットの配布）に加え、下記の啓発を実施

	事業名	実施時期	内 容
2020年 4月補 正事業	相談窓口の 周知 (1)カード (2)ポスター	(1) 9月 (2) 12月	(1) 作成部数：50,000枚 配 布 先：ハローワーク、市町村等 (2) 作成部数：1,100枚 掲 示 先：名古屋市を除く県内コンビニエンス ストア約1,020店舗、市町村



(2) ポスター

※(1)カードは添付 参考資料1「相談窓口カード」を参照ください。

(2) 医療従事者のこころの健康保持に関する啓発

○医療機関あて通知

2020年（令和2年）4月10日、2020年（令和2年）12月11日 発出

通知先：愛知県医師会、愛知県病院協会、愛知県医療法人協会、愛知県助産師会、愛知県看護協会、愛知県精神科病院協会

(3) 一般県民向けこころの健康および医療従事者への偏見等に関する注意喚起

○ラジオ番組の活用

2020年（令和2年）4月18日（土） FM AICHI AICHI SATURDAY TOPICS

19日（日） ZIP-FM AICHI SUNDAY TIPS

5月3日（日） ZIP-FM AICHI SUNDAY TIPS

6月4日（木） 東海ラジオ こんにちは愛知県です

6月9日（火） 尾張東部放送 ラジオサンキュー

○モバイルネットあいち「トピックス」5月掲載

○県のウェブページ・パーソナルサポート（LINE）において周知

3 相談体制の充実

(1) 一般県民向けこころの相談

○愛知県精神保健福祉センター

- ・2020年（令和2年）3月24日WEB ページアップ
- ・受付日時：平日午前9時から正午まで、午後1時から午後4時30分まで
- ・相談実績：291件（2021年1月29日現在）

○県保健所

➢オンライン相談が実施できるよう機材(PC・ルーター)整備

対象者：新型コロナウイルス感染症陽性者および濃厚接触者で面接相談を希望の者
その他、オンライン相談が適当であると認める者

➢外国人の相談対応できるよう機材（ポケトーク）整備

(2) 医療従事者、社会福祉施設等職員向けこころの相談

○愛知県精神保健福祉センター

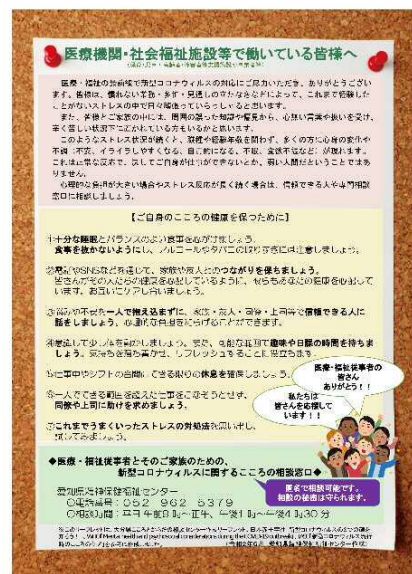
- ・開設日：医療従事者 2020年（令和2年）4月9日（木）
社会福祉施設等職員 2020年（令和2年）6月26日（金）から対象に追加
- ・受付日時：平日午前9時から正午まで
午後1時から午後4時30分まで
- ・実施機関：愛知県精神保健福祉センター
- ・相談実績：45件（2021年1月29日現在）

➢主な相談内容

- ・当事者：
 - ・自院の危機意識が低い。勤務先の医師から行動制限された。
 - ・幼稚園から登園自粛を要請された。どうしたらよいか。
 - ・(気を)張り詰めて仕事と家庭を両立した。緊急事態宣言が解除されず不安が増大。差別感が気になる。
 - ・勤務先がコロナ対策をしっかりとしてくれない。
 - ・医師である。自分が感染したら周りに迷惑がかかるといわれた。自分がいなくなってしまうのかとネガティブになってしまう。
- ・家族：
 - ・医療従事者であるため家族の葬儀に参列できなかった。
 - ・Ns.である家族がコロナ患者担当となる。本人は家族への感染を心配し、ホテルの利用を考えていて気の毒で仕方がない。職場への怒りがある。
 - ・当事者にどう接してよいか。不安で緊張が高まる。

➢対応（アドバイス）

- ・傾聴
- ・不安の増大は自然な反応であること。生活リズムを整えること。



(添付リーフレット参照)

(3) 新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊施設入所者支援

○軽症者宿泊施設の各居室リーフレットの配置・廊下へポスターの掲示

内容：こころの健康を保つために各自でできる日常生活の工夫や注意点について
精神保健福祉センターのこころの相談電話、LINEによる相談窓口の案内

○退所時に電話・LINE 相談窓口を記載したリーフレットを配布

○施設へのアウトリーチ(電話相談)

- 県精神保健福祉センター職員 2 名を週 1 回派遣し、入所者のこころの相談を実施。
(4月28日～5月22日 4回 延べ43件)
- 上記期間以降は、施設運営職員からの依頼により対応



(添付リーフレット参照)



(添付リーフレット参照)

○支援者支援

施設運営職員のこころの健康保持のためのリーフレットの作成・配布



(添付リーフレット参照)

(4) クラスタ発生施設の支援者支援

○ クラスタが発生した県内福祉施設の職員のこころのケア

施設支援に入っている DMAT (JMAT) より施設職員のこころのケアの要請が入り対応

実施日：2020年8月18日～9月1日(計4回)

対応機関：精神保健福祉センター及び施設地域を管轄する保健所

内容：>職員の現状及びニーズの聞き取り調査

>心理教育(集合+オンライン参加)

・メンタルヘルスについて

・リラクセス方法について

>個別相談(延べ17名)

(5) あいちこころのサポート相談(LINE)事業

○実施方法：事業委託(委託先：東京メンタルヘルス株式会社)

○開始年月日：2020年(令和2年)11月5日(木)

○相談時間：月～土曜日20時～24時及び日曜日20時～翌8時

○相談体制：臨床心理士、精神保健福祉士等2名及びスーパーバイザー1名配置

○対象者：愛知県内在住、在勤、在学の方

[相談実績(2月1日0時時点)]

>友だち登録者数：1,595人

>相談総件数計1,136件

>時間帯別相談件数

20時～24時(1日平均人数)	月曜深夜0時～8時(1回平均)	合計
980件(11.13件)	156件(11月56件、12月49件、1月51件)	1,136件

>年齢別アクセス数・相談件数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	答えたくない	未回答	合計
アクセス数	33	280	326	527	518	331	95	40	32	346	2,528
相談件数	2	156	183	330	250	136	39	16	24	-	1,136

>性別相談件数・割合

	男性	女性	答えたくない	合計
相談件数	337	782	17	1,136
割合(%)	29.7	68.8	1.5	100

>相談の主な内容

- ・男女共通：家族関係、健康、勤務関連相談(男性：経済関連相談も多い)
- ・新型コロナウイルス感染症関連相談 約130件(差別、将来、感染、仕事・生活・収入に関する不安、外出自粛などにより気分転換が図れない等)

>主な対応内容

- ・相談者に寄り添い、傾聴をメインに、相談内容解決に向けた情報提供等を実施

○広報

日付	内容
11月4日	記者発表 →11月5日(木)中日新聞朝刊掲載
11月5日	愛知県新型コロナウイルス対策パーソナルサポート(LINE)掲載
11月6日	愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト(県Webページ)掲載
11月11日	新型コロナウイルス感染症軽症者宿泊施設入所者へリーフレットを配布
11月16日	市町村あて情報提供
12月7日	愛知労働局(ハローワーク)へ情報提供
12月18日	NHKニュース番組「まるっと」放送
12月21日	インターネット広告(検索連動型広告、ディスプレイ広告)
1月8日～	啓発用ポスター、カード作成・配布(添付 参考資料3カード参照) 配布先: 県内私立高校、県内大学、ハローワーク、相談支援機関等